

令和5年度学校評価 最終報告（今年度の取組と次年度に向けて）

項目	具体的方策	今年度の取組と次年度に向けて
Ⅰ 授業づくり	<p><小学部> 各教科等を合わせた指導の中で、各教科等の目標・内容を偏りなく扱っているかについて確認・検討する場を設定し、共有を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の部会で小学部教育課程編成表1表（授業時数）を示し、重要性について確認し、共有を図った。 ・各教科等を偏りなく扱っているか検討するために、小学部教育課程編成表1表と2表（指導形態別授業時数）、小学部の通常の学級の生活単元学習で扱っている各教科等の割合を、見える化（グラフ化）した。それを基に、学年主任者会や学年会、部会において確認し、検討をした。その中で出てきた改善点や課題については、次年度、取り組んでいきたい。
	<p><中学部> 中学部で押さえるべき学習内容を把握して授業計画に反映させ、生徒の実態や評価の3観点を踏まえた授業実践を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の年間指導計画の見直しや合わせた指導における各教科の占める割合、押さえている学習内容を確認した結果を部会で共有した。次年度は学び過ぎ、学び残しを意識した年間指導計画等を作成していきたい。 ・生徒の主體的な取組を引き出す授業づくりについてはすべてのグループの実践報告を職員が興味・関心をもって見聞きし、参考にすることができた。
	<p><高等部> 令和6年度の教育課程メジャーバージョンアップに向けて、部全体でカリキュラム・マネジメントを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に向けて、教育課程編成表や年間指導計画などの改定を進めている。その都度、明らかになる課題を整理し一つずつ解決に向けて取り組めた。2月の試行の反省を踏まえつつ、次年度に備えたい。
	<p><施設内学級> 個々の特性を理解し、個に合わせて柔軟に対応しながら授業を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画にそって学習を進めることができた。生活単元学習においてはどの教科も偏りなく学習できた。日常生活の時間、特に朝の会では、算数、国語、音楽、体育などいろんな教科を含んだ活動を取り入れて行うことができた。 ・児童の体調が日によって違うので、活動する姿勢を考えたり、活動内容を変更したりして行うこともあった。教師間での話し合いがしやすい環境にあるので、常に児童の話をし、教材や活動内容を改善し取り組むことができた。 ・児童の成長に伴い、発作等体調の変化が著しいので、病棟との連携を大切に、児童に関わっていききたい。児童の様子はこまめに伝え、共有していけるとよい。
	<p><教務部> 授業づくりを支える教務関係様式の活用方法や個々の職員に期待したいカリキュラム・マネジメントの方向性を示し、授業力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度の早い段階で教務関係書類書き方講習会を今年度も新転任者対象と各部職員向けの2回実施し、特に個別の指導計画を中心とする授業づくりのためのカリキュラム・マネジメントの方向性について周知を図った。多忙な時期であるため、後日必要ときに各自が確認できるようにした。 ・教務関係書類の作成・活用に関わる情報を、昨年度まで学年主任に配布していた紙媒体ではなく、みよしねっとや Teams を利用して、どの職員も閲覧しやすいようにした。 ・新転任者及び希望者対象の教務関係書類書き方講習会は次年度も実施するが、それ以外の職員対象の講習会は行わず、みよしねっとや Teams で確認できるようにする。 ・次年度も議題の少ないときの部会を利用し、各部の教育課程編成について理解を図り、各職員のカリキュラム・マネジメントの意識を高め、着実な実施を進めていきたい。
	<p><研修部> 「いきジョイ（校内研究）」に全校で取り組み、育成を目指す三つの資質・能力を踏まえた授業づくり（教科別指導）について全教員で共に考え、学び合う中で、授業力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別に8つのチームに分かれて、学校全体で学習指導要領に沿った各教科の授業づくりについて共に考える研究を進めた。 ・縦割りのチームを編成し、ワークショップ型で展開する中で、学習指導要領の内容（各教科の目標や指導内容等）についての理解を深めたり、他部の視点を得たりする機会となった。また、取組を通して、教員自身に学習指導要領の活用に対する意識の変化が生まれ、得た気付きを授業に生かしたりする姿が見られた。 ・次年度は、働き方改革をテーマに、学校全体で業務改善に取り組む。一人一人が自分事として考え、その過程や成果から校内研究に対する達成感を得られる取組にしていきたい。

	<p><保健体育部> 食育を推進し、望ましい食生活の育成のために、啓発活動を行い、つながりある支援を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級を対象に食べ方の実態調査を行い、食育支援の必要がある児童生徒の情報収集を行った。偏食指導の際には、必要な食具の提供やメニューの工夫などを行った。また、給食懇談会を実施したり、食育支援の取組を食育だよりに掲載したりするなど、保護者へ望ましい食生活に向けた支援方法を発信した。次年度も引き続き食育支援に関する啓発活動を行い、児童生徒が食に関し正しい知識の習得と選択ができるようになるなど、健全な食生活の実現を目指したい。
	<p><自立活動部> 児童生徒の発達段階とその特性に合わせた支援方法についての理解を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回選択研修会では「子どもたちの手を育てる～発達の理解と感覚や動きへのアプローチ～」というテーマで作業療法士による専門的な研修会を行った。手の機能の発達段階や器用に動く手を育てるための支援方法について理解を深めることができた。 ・自立活動だよりや自立活動相談報告などを通して、具体的な支援方法などを紹介した。小中学部に比べ、高等部での活用が少なめであったため、来年度も引き続き高等部でも活用できる内容を幅広く提供していきたい。
	<p><教育支援部> 児童生徒の支援において、関係機関との連携を図り、障害特性に応じた支援方法を提案する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市こども発達センターとの相談会を実施し、臨床心理士から具体的な支援方法を学ぶことができた。得た知識を Teams や掲示板を通して校内全教員にも情報提供した。また、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの役割を校内に情報発信し活用を広げた。スクールカウンセラーを7回、スクールソーシャルワーカーを3回活用し、そのうち2件は関係機関と対象児童生徒を担当する教員が参加した支援会議で助言をいただいた。教育支援部選択研修を年3回実施した。その内1回は豊田市強度障がい専門支援員による研修を行った。校内教員に向けて強度行動障害についての特性理解や支援方法の周知を図ることができた。 ・校内アンケートを実施し、関係機関との連携についての回答者の8割が「役に立った」と回答した。教育支援部の相談を利用しなかった理由として「学年の職員間で相談して解決した」が挙げられ、学校として各部、学年等の支援体制が機能していると考えられる。次年度も、より多くの教員が必要に応じて相談資源を活用したり、支援の情報を複数の教員で共有したりできるように、指導・支援につながる研修会や情報発信を計画していきたい。
<p>2 安全で安心できる環境づくり</p>	<p><小学部> 児童も職員も安心して笑顔で過ごすことができるように、気兼ねなく発言や行動ができる環境をつくらせたり、成長につながる適切な関わり方を学ぶ機会を設けたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会等で、働き方の合言葉「笑顔で、無理せず、前向きに」を折に触れて発信した。 ・児童全員が5時間目で下校する金曜日の6時間目を会議を設定しない自己裁量の時間として設定した。自分の仕事ができる時間となっている。次年度も継続して、教員同士で気軽に話せる時間にしていきたい。 ・行事に際して、部会や Teams で適切な関わり方を発信し共有を図った。次年度、学年会や部会等で、成長につながる適切な関わり方について、情報提供・共有したり、振り返ったりする機会を設けていきたい。
	<p><中学部> 学習環境を整え、生徒の活動や部の取組を発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に向けて、各学年の物品の整理をすること、教材室と倉庫の整理をすること、サーバー内の整理を職員に伝え、順次実施の予定である。 ・人権に配慮した指導・支援について取り組んできたが、保護者アンケートでの評価が昨年度より上がっていた。次年度も取組を継続していく。 ・学習活動や行事の写真を複数ホームページにコメントとともにあげることができた。エコキャップ運動など保護者の協力をいただいた活動の様子も伝えることができた。
	<p><教育情報部> ホームページで、学校の取組を継続的に発信し、必要な情報が得られるホームページとしてのイメージを高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに「学校生活」の項目を作り、積極的に各学部の学習活動の様子を配信することができた。学校評価アンケートでも、「ホームページで学校の情報が得られる」に当てはまると答えた人の割合が、昨年より36%増えた。今後もコンテンツを充実させていきたい。
	<p><生活指導部> 緊急時における対応について、職員間の共通理解を深め、とるべき行動がとれるようにしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新たに教職員による避難訓練や、警察に協力を仰いだ不審者避難訓練、抜き打ちの火災避難訓練、新たな形での大地震発生時の避難訓練を実施した。新たな取組から見えてきた課題については、情報共有し、検討を行った。今後は取組の中で見えてきた気付きや意見を基に、緊急時における本校としての対応の在り方を継続的に検討し、つくっていききたい。

	<p><進路指導部> 教員や保護者に向けて、進路に関する発達段階に応じた情報を提供する。</p>	<p><小学部> ・小学部保護者研修会の中で、高等部卒業後の進路について写真などの資料を交えて知らせ、小学部で身に付けるとよい力について伝えることで、保護者の進路に対する知識を深めることができた。</p> <p><中学部> ・中1進路情報連絡会を開催した。入学間もない時期であったが、保護者が進路に関心を持ち事業所見学を行ってくれるご家庭も増えてきた。</p> <p><高等部> ・保護者向けの進路の手引きは、進路に関する用語説明を記載し、外国籍の方向けに翻訳したものを作成した。教員用の手引きを作成し、進路業務の確認や引き継ぎができるようにした。</p>
	<p><保健体育部> 校内の破損個所や不要物を洗い出し、撤去・改善を図り、安全で安心して学校生活を送れる環境づくりを行う。</p>	<p>・今年度も校内にある不要物の洗い出しを行い、撤去活動を行った。校内に残っている不要物は減ったものの、まだ残っている箇所もあるため引き続き取り組んでいきたい。また、校内の破損個所が多いため、今後は校内巡視を増やしたり、安全点検時に啓発したりして、できるだけ早く破損箇所の把握・改善ができるようにしていきたい。</p>
	<p><教育支援部> ニーズに応じたサポートや情報発信を進め、地域との協働体制を構築する。</p>	<p>・昨年度実施した小・中学校、高等学校のアンケート結果をもとに、ニーズに応じた夏季研修を2回行い、特別支援教育の理解を深めたり相談に答えたりすることができた。内1回は、例年高等学校教員のみ対象で行っていたが、今年度は中学校と高等学校の教員向けという研修を行い、系統性を踏まえた内容を提供できた。</p> <p>・巡回相談では、事前に相談内容を把握しておき、本校の支援に関する知識や教材等の情報を提供することで、具体的な助言が役立ったとの意見を多くいただいた。本校主催の子ども発達相談も18件の依頼があり、地域諸学校の困り感に対して支援方法を助言したり共に検討し合えたりすることができた。</p>
<p>3 働き方の改善</p>	<p><高等部> 円滑で適切な意思決定のできる会議や情報共有を行う。</p>	<p>・意思決定の流れまでは情報共有できたが、時間を守りつつ、必要な審議を行えるまでは至っていない。留意事項にある、伝え方や課題解決に向けた話し合いは少しずつ向上できつつあるため、次年度はさらに深めていけるとよい。</p>
	<p><総務部> 職員室内のロッカー等の整理整頓を行い、物の位置や表示等を改善するとともに ICT を活用した業務の効率化を図る。</p>	<p>・今年度は、ある程度整理整頓ができた。来年度は、より一層の職員室内の整理整頓を行うために、ポイントを絞ったり声掛けのタイミングを図ったりしながら物の位置や表示も改善し、また、サーバー内の整理整頓もを行い教職員の仕事の効率化を図っていきたい。</p>
	<p><教務部> 行事等実施後に次年度の計画の素案を作成し、次年度の係に引き継げるようにする。</p>	<p>・学校全体に関わる実施済みの行事等については、反省だけでなく改善点を踏まえた素案を作成して、校務部会で提案し、次年度に引き継げるようにした。</p> <p>・2月以降の行事等（入学説明会、修了式等）については、校務部会での提案ができないと考えられるので、反省等から改善点を明確化し、次年度への引き継ぎをしていく。</p>
	<p><研修部> 個々の教員の働き方に合った研修を受けられる環境を整える。</p>	<p>・各種研修会の動画や資料を Teams 上で情報発信し、学校全体で学びの共有を図った。取組を通して、個々の働き方やニーズに合わせた学びのサポートにつなげることができた。</p> <p>・次年度は、Teams 上のデータの整理やルール化、情報発信を進め、教職員の学びの充実を図っていきたい。</p>
	<p><教育情報部> 校内サーバーの整備及びデータの整理を進めて、必要な情報を利用しやすい環境づくりを行う。 ICT 機器や Teams の利用の定着を図り、学校全体の ICT の利用を促進する。</p>	<p>・校務系、教育系、Teams といったデータの保管場所の効率的な環境設定と整理方法の周知を進めることができた。サーバー全体に対して、使用量を35%に抑えることができた。データの精選を進め、30%以内に収められるようにしていきたい。</p> <p>・日常的な Teams での情報共有に加え、ICT 講習会や ICT 研修会を通して、教員の ICT 活用能力の向上を図ることができた。</p>

	<p><自立活動部> 自立活動に有効な動画を発信し、業務の効率化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動に有効な動画教材を Teams で発信し、職員間で共有することができた。第4回選択研修会「自活教材教具の紹介」では、動画教材を紹介することができた。 ・Teams や自立活動だより等で発信し、周知を図ってきたが、保管場所が分からない、存在を知らなかったという反省も見られた。より多くの職員が活用し、業務の効率化を図ることができるような工夫を今後もしていきたい。
<p>総合評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程については各部で慎重に検討していったことで、教科別指導や合わせた指導において、学習指導要領に沿って各教科のねらいを意識した授業づくりが進められた。 ・外部講師や豊田市の支援事業を活用した選択研修等を通して、子ども一人一人の特性に応じた支援方法を学ぶことができた。 2 安全で安心できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの人権について、部会等で適宜話題にしていったことで、適切な関わり方について意識することができた。 ・防災について、様々な形で訓練や研修会を実施し、一人一人の危機管理意識が高められた。 ・ホームページや保護者連絡アプリを活用し積極的に学校の様子を発信したことで、学校アンケートにおいて「ホームページや保護者連絡アプリを通じ、学校の情報を得ることができる」の評価が上がった。 3 働き方の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・Teams を活用して、参加できなかった研修会の資料を閲覧したり各種教材や児童生徒の情報を共有したりして、効率よく業務を進められるようになってきた。 	